

高野律雄市長に陳情書提出！！

—府中市西府崖線・湧水周辺環境保全と協働推進に関する陳情書—

日時／平成24年12月19日(水) 11:00～12:00

会場／市長公室

参加者／浅田多津子 葛西 利武 小西 信生
進藤礼治郎 竹内 章



竹内理事長、高野市長に陳情書を手交

西府崖線保全活動の一環として、高野律雄新市長に上記の要領で陳情した。陳情文の作成には昨年9月からとりかかり、進藤が「たたき台」を作成し、西府崖線保全チームメンバーが修正を行った。

趣旨説明の役割分担は、総論的部分である緑の基本計画・生物多様性国家戦略・市民との協働等については竹内が担当。各論的部分である府中崖線の公有化・西府崖線の保全対策・市川用水の環境整備・緑行政窓口の一本化等に関しては進藤が担当。

面談中に「西府崖線保全活動ビラNo.1～6」など、陳情書を補強する書面もいくつか手渡した。高野市長は発言をじっと聞きながら、時おりノートにしたため、質問・意見なども発した。

市長は「議員時代に役所の縦割り組織には驚いた」と率直な意見を述べ、概して我々の主張には一定の理解を示されたように思う。しかし、今後の推移を注意深く見守る必要がある。

今回の陳情の主題は「崖線の保全」であるが、第二弾として「用水路網の活用」も視野にはいつている。なお、陳情の詳細は、後日「会報」でも報告する。

【陳情書の概要】 ※全文はA4判5ページ

- 1はじめに
- 2環境基本計画、緑の基本計画等の施策の具体化
- 3生態系から見た専門家の提言
- 4生物多様性国家戦略は地方公共団体にも責務
- 5緑の骨格を構成する府中崖線の公有地化
- 6西府崖線周辺地域の保全対策を市民と協働
 - ①西府町湧水涵養域に雨水浸透マス設置
 - ②府中段丘崖線地保全地域の現況調査
 - ③キツネノカミソリ自生地保護が一步前進
 - ④植生管理・土砂崩れと「植生土のう」による対策
 - ・復旧のため事前の話し合いが必要
 - ・「植生土のう」調査で最適な対策
 - ⑤周辺市民への情報発信が大事
- 7崖線斜面樹林帯の拡充整備で憩いの場を確保
- 8周辺水路の環境整備
 - ①水路勾配・ホタル生育環境の改善
 - ②藻発生抑制策の検討
 - ③カップ池の親水性復活と周辺緑地の市有地化
- 9市民から見た緑行政への提案
- 10連携・協働推進についての要望
- 11自然特性を生かすまちづくりー用水路網活用の課題



趣旨説明に聞き入る市長

NPO法人・府中かんきょう市民の会

2013年1月9日(水)

担当 浅田多津子 ☎ 042-351-8190
進藤礼治郎 ✉ rsindo2@gmail.com